

佐賀県出身の美術家



おか だ さぶろうすけ

岡田三郎助 ～明治・大正・昭和を代表する洋画の大家～

岡田三郎助（1869–1939）は佐賀市出身の洋画家で、国内の画塾で学んだ後、フランスに留学。帰国後は東京美術学校（現在の東京藝術大学）教授として後進を育てました。美しい女性像が得意であり、代表作《あやめの衣》（1927年）では、柔らかな肌や上品な女性を描き、日本の美しさと西洋の技法を融合させています。1937年には第1回文化勲章を受章し、日本近代洋画界のリーダーとなりました。伝統と新しい技法を組み合わせる大切さを学んでほしい画家です。